

令和3年度

施政方針における主要な取り組み



菊川市

『 Challenge !

さらに前へ！住みたいまち菊川市！！』

市政運営はきびしい状況が続くと思います。

この時期にこそ、職員一人ひとりが持つ力を発揮し、一丸となって取り組んでいくことが大切だと考えます。

- ◆笑顔での挨拶や接遇  《 0円》
- ◆効果的な情報発信  《 0円》

予算をかけなくてもすぐに取り組めることは積極的に行ってまいります。

総合計画 5つの基本目標

- 1 子どもがいきいき育つまち (P 1、2)
- 2 健康で元気に暮らせるまち (P 3~5)
- 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち (P 6~9)
- 4 快適な環境で安心して暮らせるまち (P 10~14)
- 5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち (P 15、16)

1 子どもがいきいき育つまち

幼保施設の整備

- ◆認定こども園施設整備補助事業  《 225,372 千円》

認定こども園西方保育園の園舎整備に対し支援をします。

保育士の確保

★◆保育士等就業奨励金事業 **新規** 《 1,500 千円》

市内の幼保施設（保育所・認定こども園・小規模保育事業所）へ新規就業する保育士等に対し、奨励金を交付します。

一人ひとりの成長に応じた支援

◆健やかな発達支援事業 **継続** 《 8,759 千円》

発音等ことばについて心配のある幼児に対して指導を行う「幼児ことばの教室」を実施します。発達の遅れ等を心配する親子を対象に発達相談や療育教室を開催するとともに、みなみめばえの親子通園事業の利用者負担額を助成します。

G I G A スクール構想、I C T 教育の推進

◆ I C T 教育推進事業 **継続** 《 24,342 千円》

プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けさせるため、コンピューターに意図した処理を行わせる教材を導入します。また、これまで整備してきた端末やネットワーク環境等を引き続き快適に利用できるよう維持・管理を行います。

小中一貫教育

◆小中一貫・連携教育推進事業 **継続** 《 6,903 千円》

「小・中学校間のたての接続」と「学校と地域社会のよこの連携」を基盤とした小中一貫教育「学びの庭」構想を推進するため、協働の統括や学校と地域間の連絡調整等を担う地域学校協働活動推進員を配置します。また、岳洋中学校区が地域の特色として伸ばそうとしている英語力向上のための取り組みを業務委託します。

学校施設の耐震化・整備

★◆小学校校舎耐震補強・大規模改造事業 **新規** 《 431,899 千円》

耐震力が劣る小笠南小学校において、耐震補強・大規模改造工事を行います。小笠東小学校において、耐震補強・大規模改造の設計業務委託を行います。



2 健康で元気に暮らせるまち

健康格差の縮小・生活習慣病の重症化予防

◆予防接種事業 **継続** 《 48,489 千円》

伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため予防接種等を実施します。

★◆新型コロナウイルスワクチン予防接種事業 **新規** 《 212,152 千円》

新型コロナウイルス感染症のまん延を予防するため、全市民を対象に新型コロナウイルスワクチン予防接種を実施します。

◆健康増進事業 **継続** 《 1,311 千円》

主に40歳からの健康づくりや生活習慣の改善に向けた正しい知識の普及・啓発を行い、高齢期になっても元気で生活することができる市民を増やします。

◆検診事業 **継続** 《 37,262 千円》

がんや疾病の早期発見、早期治療のための検診を実施します。また、多くの人に受診してもらうよう、併せて受診勧奨を実施します。

◆健康マイレージ事業 **拡充** 《 283 千円》

多くの世代に健康づくりの取り組みを広げることを目的に、健康づくりのきっかけとなるよう、ポイントを貯めて特典が受けられる楽しさを感じる健康マイレージ事業を実施します。

地域包括ケアシステム体制の維持・推進

◆包括的支援事業 **継続** 《 28,677 千円》

※介護保険特別会計

地域包括ケアシステム構築のため、地域包括支援センターの機能強化を実施します。

◆在宅医療・介護連携推進事業 **拡充** 《 4,077 千円》

※介護保険特別会計

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、自分らしい人生を住み慣れた地域で最後まで続けることができるよう、関係機関が連携し多職種協働する体制を整えるとともに、市の目指す姿について市民への周知を実施します。

高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施

★ ◆高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施事業 **新規** 《 10,499 千円》

高齢者の保健事業と介護予防事業について、医療や保健等のデータに基づき、個別的な支援及び通いの場への積極的な関与を行います。

地域共生社会の実現・地域福祉の充実

◆地域共生社会・地域福祉推進事業 **継続** 《 2,827 千円》

今年度中に策定を完了する「第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画」の会議において、多様な福祉的課題に対応するための検討を行います。

◆民生委員・児童委員活動支援事業 **継続** 《 16,000 千円》

地域福祉の担い手である民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動を支援します。

◆障がい者理解促進事業 **継続** 《 ー 》

障がいのある人が地域の中で安心して暮らすことができるよう、障がい者理解を促進するための取組みを実施します。

急性期から回復期、在宅まで切れ目のない医療提供

◆菊川病院運営事業 **拡充** 《 1,150,000 千円》

※一般会計繰出金

菊川市立総合病院と菊川市家庭医療センターでは急性期から在宅まで切れ目のない医療を提供しています。医療提供体制の確保のため、一般会計から繰出金を支出します。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック

◆パラリンピック聖火事業 **新規** 《 49 千円》

パラリンピック聖火事業として市で採火式を開催し、「きくがわの火」を集火式が行われる静岡市まで運搬します。

スポーツの振興

◆スポーツ推進委員活動事業 **継続** 《 3,194 千円》

スポーツ推進委員と連携し、事業実施に係る連絡調整及び各種スポーツイベント等の企画・運営について協議し、スポーツ事業の推進を図ります。

◆生涯スポーツ推進事業 **継続** 《 2,052 千円》

市民の健康、体力づくりや生きがいづくりにつながる一人1スポーツを推奨することにより、誰もがいつでも気軽に取り組むことのできるスポーツ教室を開催します。

◆スポーツ大会推進事業 **継続** 《 3,660 千円》

子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に、気軽に参加できる軽スポーツを中心に大会を開催し、多世代間の交流を促進するとともに、健康で心豊かな人づくりに寄与します。

文化・芸術

◆芸術文化振興事業 **継続** 《 3,631 千円》

文化・芸術の振興を図るとともに、次世代につなげるため第2次文化振興計画を策定します。

◆文化・顕彰活動支援事業 **継続** 《 347 千円》

市内の文化財の普及活動を行っている団体への支援や初代県知事「関口隆吉」氏の顕彰事業を推進します。

◆菊川城館遺跡群整備事業 **継続** 《 6,748 千円》

菊川城館遺跡群（高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡）の史跡の保存、修景するための方法や史跡の特徴を活かした整備の方針を示す整備基本計画を策定します。

◆文化会館整備事業 **継続** 《 141,467 千円》

市民の文化・芸術活動の拠点として施設の適正な運営管理を図るため、経年劣化が見られる菊川文化会館アエルについて、大ホール舞台照明等、各種設備の補修を実施します。

読書環境の整備

◆読書環境整備事業 **継続** 《 26,830 千円》

地域の情報拠点として幅広く資料を収集し、読書環境の整備を進めます。

子ども読書活動の推進

◆子ども読書活動推進事業 **継続** 《 1,367 千円》

第三次菊川市子ども読書活動推進計画に基づいた活動を行い、次世代を担う子どもたちに読書の楽しさ大切さを伝え、子どもたちの成長を支えていきます。

3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち

安定した農業経営

◆地域特産物推進事業 **継続** 《 570 千円》

菊川市の地域特産物となりうる可能性のある野菜等の栽培の支援や、開発した新たな地域特産物のブランド化を図るための取組みを実施します。

◆複合経営推進事業 **継続** 《 400 千円》

米の生産の安定及び農業者の所得向上を図るため、「水田高収益作物生産転作推進事業補助金」により水稲と高収益作物との複合経営を推進します。

★◆荒廃農地再生・集積促進事業 **拡充** 《 2,359 千円》

市内の荒廃農地の再生を通じた農地集積により経営規模拡大を促進するため、「荒廃農地再生・集積促進事業補助金」の対象を拡大し、支援します。

女性の就農推進

◆女性の就農推進事業 **継続** 《 4,413 千円》

女性の発想や活動を地域農業に取り入れ、活性化に繋げていくため、「地域おこし協力隊」を活用し、農業の新たな魅力の発見や情報発信を進め、女性の就農支援体制づくりを進めます。

農地関連整備

◆農業施設維持管理事業 **継続** 《 48,513 千円》

農道や用排水路等の改良、修繕等を実施します。

◆農村地域防災減災事業 **継続** 《 18,100 千円》

防災重点ため池に選定されたため池の耐震調査を行うとともに、県が実施するため池整備事業費に対して負担します。

農業用水の確保

◆水利施設整備事業 **継続** 《 8,186 千円》

農業用用水路の整備により生産性の向上を図り、農用地の有効利用を促進します。

経営体の育成

◆茶生産経営体育成推進事業 **継続** 《 1,350 千円》 ※一部、再掲

茶価低迷や担い手不足、また生産費高騰による経営圧迫などの将来に渡る安定的な茶生産の維持が危惧されるなか、生産組織体制や人材育成などの事業を行う団体を支援します。

生産者への支援

◆茶園管理推進事業 **継続** 《 4,405 千円》

茶園集積による機械化に対応した生産性の向上や省力化を図るため、農地中間管理事業を活用し、茶園集積を行い園地整備等を行う茶工場又は生産者に対して支援するとともに、より信頼性の高い生産体制を図るため、GAP 制度等の活用を推進します。

◆産地生産基盤パワーアップ事業 **継続** 《 403,945 千円》 ※R2 繰越

地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、需要に応じた多様な品質・ロットに対応出来る生産・供給体制を構築するための施設整備を支援します。

消費拡大・認知度向上

◆茶消費拡大事業 **継続** 《 11,706 千円》

菊川茶の宣伝と消費拡大事業等を実践し、茶業の安定及び発展を図ることを目的とした菊川市茶業協会に対し負担金を支出するとともに、菊川茶のブランドの確立を目指し、事業の進捗を図ります。

◆茶交流促進事業 **継続** 《 500 千円》

県内外の方を招いて、収穫体験の実施や市の特産品を PR し、交流人口の増加を図ります。

★◆教育ツアー事業 **拡充** 《 1,050 千円》

本市の魅力に触れていただく教育ツアーでは、教育による交流促進とツアーの磨き上げを行います。

◆茶園管理推進事業 **継続** 《 1,300 千円》

若手茶生産者の技術向上や、菊川茶のブランド力向上を図るために、品評会へ出品する茶生産者を奨励金により応援します。



茶文化の継承

◆茶文化継承事業 **継続** 《 584 千円》

菊川茶文化の継承を図るため、小学3年生への茶業学習とお茶の淹れ方教室の実施を菊川市茶業協会に委託します。

市内茶業と地域全体の活性化を図るため、環境への負荷を軽減し、生物多様性を保全する世界農業遺産「静岡の茶草場農法」を推進します。

◆茶生産経営体育成推進事業 **継続** 《 1,100 千円》 ※再掲

茶業の振興を図る茶業委員会に負担金を支出し、茶業委員会の活動の中で小中学生のお茶を飲む生活習慣づくりを進めます。

企業が操業・進出しやすい環境づくり

◆創業支援・事業承継支援事業 **継続** 《 252 千円》

創業希望の方や創業間もない方等を対象に、創業支援セミナーを開催します。
静岡県事業承継ネットワーク等の関係機関と連携し、事業承継の推進を図ります。

★◆企業立地推進事業 **拡充** 《 104,068 千円》

地域産業の高度化及び経済の活性化に寄与するため、市内に工場等を設置する企業の用地取得費等に補助金を支給します。

地域に新たなビジネス及び雇用を創出し、地域経済の活性化を図るため、市内に新たにサテライトオフィスを設置する市外企業に対し補助金を支出します。

県と市町が企業誘致活動を一体的に推進する協議会に参加し、首都圏等への企業訪問による行政情報の提供、情報交換等を行います。

工業用候補地検討調査を実施した工業用候補地について、県、庁内関係各課、用地関係者等との調整等を図り、事業化に向けた検討を進めます。

◆地域産業広域連携事業 **継続** 《 3,500 千円》

静岡県国際経済振興会（SIBA）、浜松地域イノベーション推進機構、フロンバレーセンター、日本貿易振興機構（JETRO）等の産業支援機関と連携し地域産業の活性化に取り組みます。

事業活動に必要な人材の育成と確保

◆就労支援事業 **継続** 《 2,352 千円》

ハローワークの協力を得て、毎月1回市内に窓口を設置し、身近で気軽な就労情報の収集と相談ができる場所を提供します。

女性の就労機会の拡大を目的として、就職支援のためのセミナー等事業を開催します。

企業説明会等により、若者の地元企業就職を推進する小笠地区雇用対策協議会に対し負担金を支出します。

市内企業に興味のある高校生、大学生等を対象に、企業見学バスツアーを開催します。

観光

★◆交流促進事業 **拡充** 《 5,900 千円》

地域おこし協力隊を公募・委嘱し、地域行事やイベント開催支援、地場製品の販売・プロモーション、都市との交流事業につなげます。

市の魅力発信事業や市内の賑わいづくりのための交流促進事業を市観光協会等に委託します。

◆広域観光連携事業 **継続** 《 1,545 千円》

県観光協会、空港周辺地域観光振興研究会、遠州観光協議会等に負担金を支出し、広域的な観光連携を進め、交流人口拡大につなげます。

◆観光協会連携事業 **継続** 《 14,584 千円》

菊川市における観光事業の振興を図り、文化、産業の発展向上に資することを目的とする菊川市観光協会への補助金を支出します。



4 快適な環境で安心して暮らせるまち

大規模な自然災害による被災箇所の復旧

- ◆過年災害復旧事業(農林課) **拡充** 《 22,060 千円》 ※一部、R2繰越

令和元年10月12日の台風19号により被災した島川用水の復旧工事を実施します。

- ◆住宅災害復旧事業(都市計画課) **継続** 《 15,178 千円》 ※R2繰越

令和2年7月の豪雨により崩壊した富士見台調整池の法面を復旧・保護する工事を実施します。

市民の防災に対する意識

- ◆防災啓発事業 **継続** 《 758 千円》

防災ワークショップ、防災講演会等の開催をとおして家庭での防災意識の向上と女性の防災活動への参画の推進を図ります。

国土強靱化

- ◆国土強靱化地域計画推進事業 **継続** 《 — 》

大規模自然災害が発生しても致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復するしなやかさを併せ持つ強靱なまち菊川をつくるため「国土強靱化地域計画」に基づき事業を推進します。

静岡県総合防災訓練

- ★◆県総合防災訓練事業 **新規** 《 19,740 千円》

令和3年度の「静岡県総合防災訓練」を、静岡県と菊川市及び御前崎市との共催により実施します。訓練には、県、市、防災関係機関、自主防災会、企業及び市民団体が参加し、大規模地震により被災した場合における、それぞれの役割や連携方法の確認を行い、コロナ禍における災害を想定したより実践型の訓練を実施し、参加者全体の防災力の向上を図ります。



災害対策を支援（自助での備え）

★ ◆建築物等耐震改修促進事業（TOUKAI-0 事業） **拡充** 《 23,388 千円》

地震による建築物やブロック塀の倒壊等の被害から市民の命を守るため、既存住宅等の耐震補強やブロック塀の撤去・改修等への補助を実施します。

◆大規模地震対策等総合支援事業 **継続** 《 1,305 千円》

高齢者世帯などの安全確保のため、家庭内の地震対策を支援します。

①耐震シェルター整備費補助金、②防災ベッド購入費補助金、③（拡充）感震ブレーカー設置補助金、④家具転倒防止事業

◆マイ・タイムライン普及事業 **拡充** 《 981 千円》

防災士と連携した出前行政講座を実施し、災害時に落ち着いた避難行動がとれるよう自分や家族の行動をあらかじめ想定しておく「マイ・タイムライン」の普及を行います。

危険から身を守るためにあらかじめ自分や家族の行動を決めるためのマイ・タイムラインの普及を行います。

◆情報伝達・避難体制対策事業 **継続** 《 4,158 千円》

茶こちゃんメールや防災ラジオなど様々な手段を活用し情報発信します。

防災組織体制の充実（共助での配慮）

◆大規模地震対策等総合支援事業 **継続** 《 15,135 千円》

自主防災会を対象とした防災組織の育成強化と防災意識の高揚を図り、地域防災力の基盤整備を図ります。

◆防災対策事業 **継続** 《 59 千円》

自主防災会や避難所運営委員会等の地域防災の担い手となる人材を育成するため、静岡県ふじのくに防災士資格の取得に対し補助を行います。

◆自主防災組織事業 **継続** 《 1,417 千円》

自主防災会を対象とした説明会の開催や防災指導員の活動をとおして地域防災力の向上を図ります。

防災資機材の整備（公助での対策）

◆大規模地震対策等総合支援事業 **継続** 《 15,013 千円》

大規模災害に備え、被災者支援のためのアルファ化米や粉ミルクなどの食糧、毛布や紙おむつなどの生活物資、及び発電機や間仕切りなどの資機材の備蓄を計画的に進めます。

◆防災施設等整備事業 **継続** 《 20,000 千円》

八王子配水池の耐震化を進めるため、一般会計から繰出金を支出します。

◆防災資機材管理事業 **継続** 《 14,084 千円》

災害時に迅速に活用できるよう、防災資機材を適正に管理します。

菊川下内田地区河川防災ステーション

◆水防施設等管理事業 **継続** 《 651 千円》

河川防災ステーションを管理し災害時の迅速かつ円滑な復旧に努めます。

◆水防訓練実施事業 **継続** 《 471 千円》

自主防災会や水防団等と訓練を実施し、防災力向上を図ります。

消防力の基盤強化

★◆消防自動車等整備事業 **新規** 《 124,491 千円》

複雑多様化する災害に的確に対応するため、老朽化した救助工作車及び救助資機材を更新します。

◆消防施設整備事業 **継続** 《 7,721 千円》

火災時の重要施設である防火水槽及び消火栓などの消防水利の適切な維持管理を行います。

救急救命士の養成

◆救急救命士養成事業 **継続** 《 2,718 千円》

救急車に常時救急救命士が搭乗し、医師の指示による救命処置等が行える体制を確保することにより、救急要請に的確に対応するため、救急救命士の養成を継続します。

交通基盤・幹線道路や生活道路などの整備

◆道路橋梁長寿命化事業 **継続** 《 205,132 千円》 ※一部、R2線越

インフラ施設の長寿命化を図るため、橋梁やトンネルについて点検を実施し、補修工事を行います。

◆掛川浜岡線バイパス整備事業 **継続** 《 40,308 千円》

掛川浜岡線小笠バイパスの赤土地区から高橋地区を結ぶ幹線道路である市道赤土高橋線の整備事業を行います。

◆市道大須賀金谷線整備事業 **継続** 《 69,863 千円》

市内東西を結ぶ幹線道路である市道大須賀金谷線の整備事業を行います。

◆街路青葉通り嶺田線整備事業 **継続** 《 20,504 千円》

都市計画道路青葉通り嶺田線の道路詳細設計、用地測量を進めます。

◆潮海寺地区計画事業 **継続** 《 30,051 千円》

官民協働で潮海寺地区の都市基盤整備を行い、狭隘道路整備率の向上及び住環境の改善を図ります。

菊川駅北整備構想

★◆駅北整備事業 **新規** 《 28,570 千円》

菊川駅南北自由通路整備に必要な北口駅前広場実施設計を行うとともに、都市計画決定や街路事業認可に必要な検証を行います。

◆自由通路概略計画事業 **継続** 《 54,003 千円》 ※R2線越

基本計画調査を基に概略設計を行い、詳細な規模や設備を検討するとともに、事業費や工期を算出する業務委託を行います。

◆駅北まちづくり検討事業 **継続** 《 2,684 千円》

駅北地域に新たな市街地を形成するため、事業化に向けた検討を進めます。

地域公共交通

◆コミュニティバス推進事業 **継続** 《 46,807 千円》

路線バスが運行していない交通空白地域の解消を目的とし、定時定路線運行7路線及びデマンド運行2路線を運行します。また、時刻表の配布、停留所の修繕等により、利用促進を図ります。

環境・循環型社会の構築

◆環境・循環型社会事業 **継続** 《 127,075 千円》

一般家庭の生ごみの減量と食品ロスの削減、4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、ごみの排出量削減につなげます。

水資源の保全

◆浄化槽設置事業 **継続** 《 51,391 千円》

生活排水処理の向上・環境への負荷軽減を図るため、浄化槽の設置費に対し補助金を交付します。

◆公共下水道整備事業 **継続** 《 305,606 千円》

※下水道事業会計

菊川水系の水質浄化を図るため、下水道の整備を実施します。

上水道の施設整備・大井川の水資源

◆水道整備事業 **継続** 《 469,340 千円》

※水道事業会計

災害に強い管路への改良に取り組みます。



5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち

庁舎東館を核とした賑わいづくり

◆市民協働型庁舎東館周辺賑わい創出事業 **継続** 《 6,358 千円》

地域住民や地元商店街、市内事業者、若者等が、自らまちの賑わい創出を担っていく機運を高めながら、賑わい創出に向けた事業を実施します。

外国人住民・多文化共生

◆多文化共生地域づくり推進事業 **継続** 《 647 千円》

多文化共生社会の実現に向け「第4次菊川市多文化共生推進行動指針」を策定します。また、多文化共生意識の醸成や人材育成等を目的とした講座を開催します。

◆多文化共生推進事業 **継続** 《 7,790 千円》

外国人住民に対する多言語での情報提供や、生活上の相談に対面や電話等を活用し多言語で対応し、関係機関への取次等を行うため、外国人相談窓口を設置します。

マイナンバーカードの利用・行政手続きの簡素化

◆マイナンバー制度推進事業 **継続** 《 1,970 千円》

国が実施する消費活性化策のマイナンバーカードを活用した「マイナポイント」の予約申込支援や事業の周知を行います。

◆マイナンバーカードを利用した証明書交付事業 **継続** 《 8,033 千円》

マイナンバーカードを利用してコンビニのキオスク端末から住民票、印鑑登録証明書、課税証明書の交付が受けられるサービスを提供します。併せて、本庁市民課窓口ではコンビニ交付と同様の簡単な操作で証明書の申請ができる端末を設置し、よりスムーズな証明書交付を行います。

シティプロモーション

★◆魅力発信事業 **拡充** 《 1,838 千円》

移住定住を促進するため、見た人がワクワクする小冊子とホームページを作成します。市民による本市の魅力発信を推進するため、市民を対象としたSNS向けの写真講座を開催します。

移住・定住

★◆移住・定住・交流推進事業 **拡充** 《 1,235 千円》

移住を検討している方への市内案内や、オンラインや首都圏等で開催する移住相談会等へ参加します。また、就業等の一定の要件を満たした東京圏からの移住者を支援します（対象者の範囲を拡充します）。

結婚支援

★◆出会い・結婚サポート事業 **新規** 《 3,000 千円》

夫婦の年齢や所得の要件を満たす新規に婚姻した世帯に対し、新生活に伴う居住費などを支援します。

働き方改革

◆庁内情報システム運用事業 **拡充** 《 11,597 千円》

AI-OCR、RPAなどの新たな技術の活用や無線LAN環境、Web会議により事務の効率化を進めます。

定員管理・適正な職員管理

◆職員管理事業 **継続** 《 ー 》

令和2年度に作成した「定員管理計画（R3～R7）」に基づき、適正な職員数を維持し、増大する行政需要に的確に対応していきます。

公共施設（個別施設計画・総合管理計画）

◆公共施設管理計画事業 **継続** 《 959 千円》

公共施設マネジメントの基本方針である「施設総量の最適化」、「長寿命化の推進」、「施設の有効活用」に取り組み、昨年度に策定した個別施設計画を反映した公共施設等総合管理計画の見直しを行います。

行政経営システムの稼働

◆行政経営システム運用事業 **継続** 《 9,226 千円》

行政評価・実行計画・予算編成までを一連の流れとして、PDCAを効果的に回すシステムの運用を開始します。

行財政改革・行財政運営

◆行財政改革推進事業 **継続** 《 489 千円》

菊川市新行財政改革推進方針に基づく菊川市CAPDo!の取り組みを推進します。また、市総合計画の実現に向けて、引き続き行財政の健全化に取り組んでいくため、新たな行財政改革の方針を検討します。

